

黒田幹一 （1871-1947） 明治十五年岡山縣生れ（二六二一）。東京帝國大學文
 科大學獨文科卒。大正八年渡鮮、爾後二十七年間在任。この間（1918-1945）昭和五
 年ドイツ以遊學一年半。京城帝大教授。二十年未歸郷。
 譯著書、ピエトロ・コツサ作『皇帝の口』（編、大正二年八月十六日
 赤城正藏刊「ツカギ叢書」）、『草廬隨筆』（昭和五十二年八月二十
 五日岡山・私家版）等。

